

呼吸器外科 での 研修について教えてください。

呼吸器外科は週3回の手術日（月水金）があり、1日2件（以上）の全身麻酔下手術を行っています。火曜日朝は教授回診があり、その他の曜日は呼吸器外科で毎日手術カンファレンスや入院患者さんの治療方針検討を行っています。また、毎週水曜日夕方には呼吸器内科、腫瘍内科、放射線科、放射線治療科、病理部と腫瘍カンファレンスを行っています。

診療チームは2-3チームあり、いずれかのグループに所属し、担当医として研修を行って頂きます。肺癌を主とした様々な呼吸器疾患に対する手術をはじめとして、縦隔腫瘍や胸壁疾患などに対する治療、硬性鏡を用いた気管・気管支ステントなどの気道インターベンションなどに加え、最新の低侵襲内視鏡手術であるロボット支援下胸腔鏡手術や単孔式胸腔鏡手術の実際についても学べます。開胸・閉胸の基本手技から肺血管処理や肺切除までの手技を実践してもらい、また胸腔ドレーンなどの周術期の患者さんの管理など外科医としての基本的な知識・手技を身につける事ができます。

また全国学会での学会発表や、論文発表などの指導サポートも手厚く行います。



呼吸器外科 助教、医局長
齋藤 大輔 先生